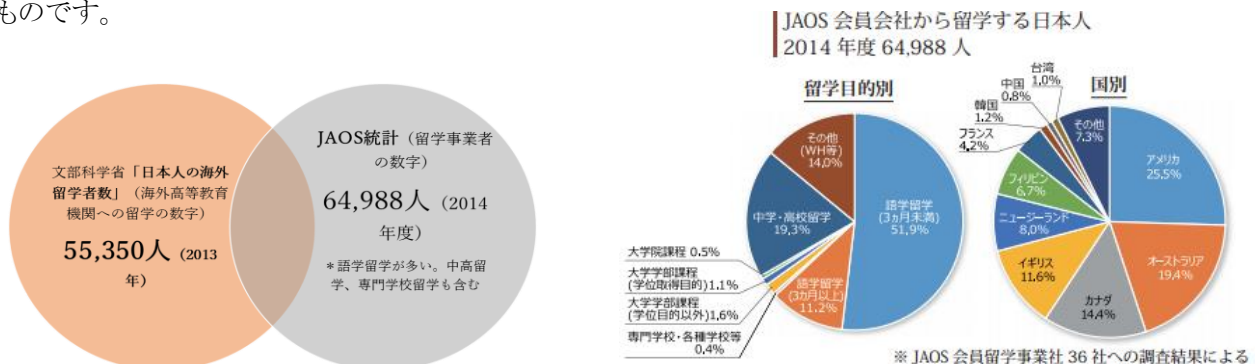


日本人の留学者数は文部科学省統計の約二倍。
**新統計でこれまで捉えきれていなかった 64,988 人の留學生の存在が判明
留学事業者 36 社による日本人留学状況調査**

留学事業の健全な発展と国内の留学啓蒙を目的として、留学事業者等 65 社以上で構成される一般社団法人海外留学協議会(JAOS、理事長 曾根 靖雄、以下、「JAOS」)は、独立行政法人日本学生支援機構が2016年1月に「JAOS」会員である留学事業者 36 社を対象に行った「留学事業者 36 社による日本人留学状況調査」に関して、調査協力を行いました。

結果、**2014 年度においては、文部科学省が発表した「日本人の海外留学者数」(2016 年 3 月)の統計数値である 55,350 人とはほぼ重複しない、64,988 人の日本人が留学していることがわかりました。従来の文部科学省による統計は、海外の高等教育機関で学ぶ日本人留學生数のみ反映しており、最も人数が多い語学留学などの数字は含まれていません**でした。そのため、より正確に日本人海外留學生数把握することを目的として調査したものです。



■調査結果サマリー

本調査では、文部科学省による統計で捉えられていない語学留学等の実態を明らかにしました。日本から近く、物価が安いフィリピンへ 4,338 人が語学留学しているほか、中学・高校留学では 12,552 人が「JAOS」会員留学事業者から留学しています。

●サマリー1:「第 6 の語学留学先としてフィリピンが急上昇」

アメリカ・オーストラリア・カナダ・イギリス・ニュージーランドの上位 5 か国で全留学者数の 80% を占めるが、フィリピンへの留学が 5 位のニュージーランドに追随し、日本人留学者の第 6 の留学先に。中国と台湾は少ない。

●サマリー2:「語学留学以外では中学・高校留学が 2 割」

語学留学 (3 か月未満) が全体の半分以上を占める。次いで中学・高校留学は全体の約 2 割となり、その他 (ボランティア・インターンシップ・語学なしワーキングホリデー) は 14% 程度であった。

●サマリー3:「根強い英語圏への留学」

語学留学はほとんどの国で留學生の大半を占めており、特にフィリピンやフィジーでは 95% 以上が語学留学となっている。一方、フランス、シンガポール、台湾では語学留学の割合が少ない。中学／高校留学は、留學生数上位 5 か国の英語圏に集中している。また、大学／大学院留学は、上位 5 か国に加えて中国・韓国等も加わる。

2013年6月に閣議決定された「日本再興戦略」の中で、2020年までに日本人留学生を倍増させることが掲げられています。そのためには産官学が力を合わせていく必要があります。「JAOS」は今後も、留学のプロとして25年間にわたって蓄積した留学支援に関するノウハウを生かし、民間の立場で国や大学などと協力しつつ、より多くの日本人が留学を実現できるよう、啓発や支援活動を行ってまいります。

■調査概要

- ・調査時期:2014年4月から2015年3月まで
- ・調査手法:「JAOS」に加盟する留学事業者へのアンケート調査
- ・調査主体:独立行政法人日本学生支援機構

■一般社団法人海外留学協議会(JAOS)とは

1991年に留学事業の健全な発展と国内の留学啓蒙のために組織された機関。現在、留学サービス事業者を中心に65以上の団体が加盟、パートナー会員として、オーストラリア大使館マーケティング事務所、ブリティッシュ・カウンシルなど公的機関も会員になっている。2014年度にはJAOS会員留学事業者から約6万5千人の日本人が留学している。

- ・設立:1991年(2008年に一般社団法人格を取得)
- ・理事長: 曾根 靖雄
- ・所在地: 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-46ロベール神楽坂7F
- ・URL: www.jaos.or.jp

■本リリースについてのお問い合わせ先

一般社団法人海外留学協議会(JAOS) 事務局長 星野 達彦

Email: jimukyoku@jaos.or.jp 電話:03-3269-8446 FAX:03-3269-8447

以上